

令和8年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請関係様式

都道府県名	09 栃木県
市区町村名	09201 宇都宮市
自治体区分	中核市

●令和8年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和8年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和7年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
09201 宇都宮市	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	・保護者及び地域住民等と連携・協働した教育活動等が推進されている。今後は、学校の目標や取組状況、課題を共有した上で、取組の充実や課題解決に取り組むことによる、地域とともにある学校づくりの一層の推進が必要である。	・「学校運営協議会の試行的導入事業」として、小・中各2校のモデル校に試行的に設置している学校運営協議会での検証を継続し、本市の各中学校区における「魅力ある学校づくり地域協議会」などを生かした地域とともにある学校づくりの一層の充実について調査研究を行い、学校運営協議会の設置に向けた準備を整える。	・学校経営の方針等について保護者や地域と共有するとともに、保護者や地域の声を学校評価に生かし、学校経営の改善を図る。また、会議の円滑な実施方法等について、モデル校での取組を通して検証する。 ・校長のリーダーシップのもと、地域の教育力を生かした特色のある教育活動を展開する。 ・地域学校協働活動を担う「魅力ある学校づくり地域協議会」、「宮っ子ステーション」などによる地域の教育力を活用した活動を支援する。	・学校と家庭・地域・企業等の連携・協力により、子どもたちを育む「地域の教育力」の向上が図られる。		94	%	94		
09201 宇都宮市	②学校と地域の課題	01 通学路等の地域安全・地域防災	・児童生徒が登下校する通学路等の安全確保について、教職員の見回りなどの負担軽減が課題となっている。 ・学校における働き方改革に資する学校教育支援活動等の安定的な実施のため、活動の担い手となる人材の確保が課題となっている。	・安全確保のための地域ボランティアや学習支援ボランティアの確保につながる研修会の開催や情報提供による周知啓発を実施する。 ・活動コーディネートの一層の推進のため、地域学校協働活動推進員の複数配置を推進する。	・小中学校区ごとに設置している「魅力ある学校づくり地域協議会」における学校支援ボランティアの確保に向けた支援や、地域学校協働活動推進員の複数配置を推進しており、昨年度は、登下校に関する対応については、約8割の小中学校において、学校教育支援活動については全ての小中学校において行われた。 ・関係者研修会において事例発表や情報交換会を実施した。	・児童生徒の安全確保や学校教育の充実について、地域の教育力を生かした活発な活動により、教職員の業務負担が軽減する。		2197 2	回	2120 0		
09201 宇都宮市	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	・放課後等における子どもたちの多様な体験活動が減少しており、機会の確保が課題となっている。 ・家庭の経済的事情等に左右されず、誰もが学習の支援を受けられる環境づくりが課題となっている。	・活動の企画立案を担うコーディネーターが活用する「活動アドバイザーリスト」「活動事例集」の充実を図る。 ・放課後子ども教室に係る地域への事業説明を行うなど、実施校数の増となるよう、未実施校へ重点的・直接的な働きかけを図る。 ・活動の全体調整を担うコーディネーターやボランティアなど地域の協力者が連携して活動に関わることで、地域のネットワーク機能の充実を図る。 ・各中学校区での実施状況や課題の把握を行うとともに、地域未来塾の開催や活動の充実に資する支援を行うなど、令和8年度も市内全ての25市立中学校区において維持継続できるよう地域の実情に応じた活動の支援を行う。	・放課後子ども教室事業について、未実施校区における地域の各種団体に対して、積極的に新規立ち上げへの働きかけを行うとともに、実施校区に対しては、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりの充実に向け、学習支援やスポーツ・文化活動、交流活動への支援を行い、令和7年度現在において、60小学校で実施している。 ・小中学校区ごとに設置している「魅力ある学校づくり地域協議会」において実施している地域未来塾について、学習支援員の派遣などの開催支援を行い、令和7年度中に市内全ての25市立中学校区で開催することができた。また、研修会を実施し、地域未来塾の好事例を紹介するなどボランティアの協力を得ながら地域と学校が連携、協働した活動の支援を行うことができた。	・活動の企画立案の支援などにより、活動に係る担い手の負担や不安が軽減する。 ・子どもたちを地域社会の中で心豊かに育む活動の機会が増加に伴い、参加する活動者数や児童数が増加する。 ・学校・家庭・地域が互いに連携・協働し、希望する生徒に学習機会を提供するとともに、事業の周知啓発による参加生徒数が増加する。		1319 05	人	1690 00		